

## 令和4年年度在宅医療介護連携推進事業 広報啓発部会（案）

## 1. 目的

市民が在宅医療や介護について理解し、在宅療養に必要なサービスを適切に選択できるようにする。また、適切な在宅療養を継続するために、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解促進をする。

## 2. 部会委員

職種	氏名	所属	役割
歯科医師	吉崎 太朗	吉崎歯科医院	部会長
医療相談員	白井 健志	三郷中央総合病院	
保健師	磯 知恵	地域包括支援センターみさと南	
介護支援専門員	杉山 郷美	福祉のニッカ介護相談室	
介護福祉士	栗原 一樹	デイサービスセンター采女の里	

※委員の変更 副部会長

(介護支援専門員)

みさと南訪問看護ステーション居宅 丸山 奈穂子 → 福祉のニッカ介護相談室 杉山 郷美

## 3. スケジュール

令和3年6月	第1回部会	
7月	第2回部会	
9月	第3回部会	
令和4年1月	第4回部会	(今年度の評価及び次年度の方針決定)

## 4. 実施内容 令和3年までの内容～

- ・ ACPに関する普及啓発（県作成 DVD あり）
- ・ 啓発物の作成、配布

## ※市民講演会

H29年度：(特養での看取り 石飛幸三医師)、

H30年度：(在宅での看取り 小笠原文雄医師) 開催、医師会作成のエンディングノートの配付

R1年度：介護ミニ講座（介護サービスの入り口（包括）をメインに2か所で開催）

## ※市民向け啓発物配布

R2年度：市民の医療介護の相談と理解促進への入り口として「介護の絵本」B5冊子3000部  
制作及び配付

R3年度：人生会議へきっかけと理解促進への入り口として「人生会議の絵本」B5冊子2000部  
制作及び配付

5. 予算 40万

科目	内容	金額(円)
謝金	講師謝金または冊子データ作成費	50,000
消耗品費	啓発用パンフレット・事務用品 パンフレット増刷	340,000
消耗品	印刷・用紙代等	10,000

6. 三郷市在宅医療介護連携推進協議会で出ている市民に対する課題

①日常の療養について

定期受診の必要性・介護サービス、往診等の周知

②急変時の対応や入退院支援について

急変時の対応について知る事で在宅医療をイメージできるようにする。

③看取りについて

ACPや看取りに関心が持てるようにする。

媒体作成及び特設コーナーの設置、配布。

7. 今年度の方針について

広報啓発部会の啓発内容として、相談窓口～介護サービスの説明～ACP、それからという流れで考えております。

令和4年度は、協議会の課題も含めて、検討していきます。

また、今年度も感染症まん延等で会場での講義開催が難しい状況であれば、冊子を作成、配布を検討しています。